

会員の
ひろば

私のお薦めコーナー 北海道の雪を楽しむ！

田 守 隆 浩

北海道の雪を楽しむすすめ

北海道の雪は、“JAPOW(ジャパウ)” (Japan と Powder を合体した造語) と呼ばれ、そのサラサラな雪質に海外のスキー・スノーボード愛好家から絶大な人気を博しているようです。私は、生まれも育ちも北海道なので道外の雪も海外の雪も知りませんが、ニセコをはじめとする道内のスキー場に海外から多くの人々が訪れる光景に驚かされ、そんな魅力のある北海道の雪の中で生活していることに喜びを感じずにはいられないと言いたところですが、大雪や吹雪に悩まされることが多く、その魅力に実感なく暮らしているしだいです。海外から注目される北海道の雪で私が楽しんでいるスキーについてオススメを紹介します(特に、昔やっていた方、これからやってみいたい方、小さい子供がいる方へ)。

はじめに私のスキー経歴から紹介します(つまらない話ですが少々お付き合いください)。私は、スケートの町育ちのためスキー授業はなく、親に連れられた年数回の日帰りスキーが経験のはじまりでした。高校・大学時代は、岡部哲也さんのワールドカップでの活躍や、原田知世さんの「私をスキーに連れてって」のヒットを背景に空前のスキーブームであったため、友人と熱心に取り組みました。板はロシニョール、金具とブーツはサロモン、ウエアはデモパンにイカ帽子。当時を知る方には思い出されるスタイルではないでしょうか。就職後は、熱が冷めたか、仕事を中心になったかは定かでないですが、スノーボードブームにも乗ることもなく、スキーはパタリとしなくなりました。それから 10 年と少し経ち、息子が幼稚園に入る頃に「せっかく雪国北海道で生まれたのだからウィンタースポーツを楽しめるようにしてあげたい」と思い立ったのをきっかけ

にスキーを再開しました。持っていた用具は 10 年以上前のものでしたので経年劣化により使用できず、息子の用具とともにセットスキーを新調しました。このとき驚いたのが「カービングスキー」なる進化した板でした。昔は 2m の板を乗りこなすことに技術とステータスを求めましたが、今は身長マイナス 10cm の板で 3 サイズがボン・キュッ・ボンのくびれたプロポーションの板を傾けることにより楽々ターンができるというものです。板の優れた性能により長年のブランクを感じることなくスキーに戻ることができました(オススメ理由①)。息子にスキーの基礎や楽しさを教えるために再開したはずでしたが、気が付くと自分が夢中になり、かれこれ 10 年以上たった今でもスキーを継続しています。年齢のためか短時間の滑走で満足できるので、家から近くのスキー場を中心に年間 30 日(2～4 時間/日)を目標として通っています(目標達成はなかなかできていませんが)。冬にスキーをすることで運動不足が解消されるとともに、太もも、お尻等の筋肉が強化され、来る春のゴルフでの飛距離アップに有効に働きます(オススメ理由②)。また、スキー後のビールは格別です(オススメ理由③)。

以下に、私が通っている近場でオススメのスキー場を紹介します(札幌近郊の方向けですが)。

ダイナスティリゾートスキー場(北広島市)

札幌中心部から 60 分位(私の家からは 30 分)です。峠越えがないので難なく到着できます。日中は混雑してリフトの待ち時間の方が長くなるので、朝一(9 時)からの 2 時間が狙い目で黙々と滑ります。朝一を逃したら 15 時以降(ナイターは 21 時迄)が空くのでオススメです。三井アウトレットパークが

近く、家族はここで買い物(又は帰りに立ち寄り)ということが可能です。スキー場までの無料送迎バスも出ています。コースは初心者から中級者向けで、山ではなく丘(夏はゴルフ場)といった感じですが、小さい子供連れの方には良いと思います。山頂から遠くに札幌の街並みが望めますので、映えスポットにもなりましょうか(?)。リフト券は1,500円(2時間券)からととてもリーズナブルです。食事券付きのお得なパック(2,500円~)もあります。私はシーズン券(息子と二人分で早割33,000円)を毎年購入しています。毎週末通っていると、必ず見かけられるご高齢のおじ様・おば様スキーヤーが何人もいます(シーズン中はほぼ毎日来ているそう)。特に会話を交わすわけではないですが、見かけない時は「体調悪いのかな」と勝手に心配している自分がいます。こんなアットホームなスキー場です。ただ一つ難点があり、日によりリフトから黒いしずくが滴ることがあるので、きれいなウエアの方は注意が必要です(このとき、おじ様・おば様は百均のポンチョをウエアの上から着ます)。

ほぼなしで楽しめます。子供から大人まで上手い人が多く、ひたすら練習している猛者の姿をあちこちで見かけます。食堂は昔懐かしい昭和レトロな佇まい(私は好み)で9時半から開店しています。メニューは、定番のうどん・そば、ラーメン、カレーライス、牛丼などです。私は「豚汁とおにぎり」を好んでよく食べます。全体の雰囲気が「市民スキー場」の名の通り、地元の方から愛されている感じをとて受けるスキー場です。



写真-1 朝一のゲレンデ(遠くに札幌の街並み)



写真-2 午前のゲレンデ(充実したリフト台数)

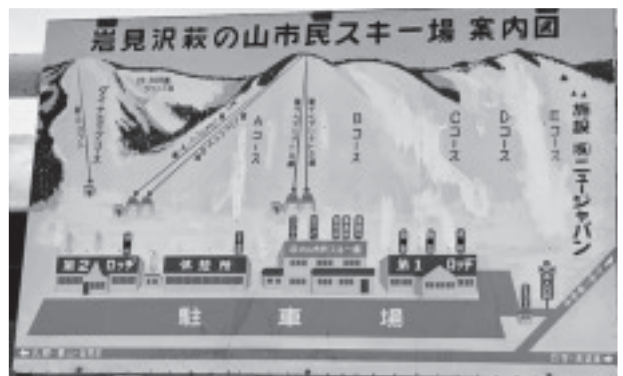


写真-3 右(E)から左(ダイナミック)へ難易度UP

萩の山市民スキー場(岩見沢市)

新札幌から60分位です。ここも峠越えがないので道中の難易度は低いです。豪雪により交差点の見通しが悪い場合があるので確認は十分に行ってください。コースは初心者から上級者まであり、山の高さはありませんが横に幅広なのが特徴です。駐車場からゲレンデまでの距離が近いのが嬉しい点です。リフト券は2,200円(4時間券)からとリーズナブルです。どの時間帯に行っても混雑することはあまりなく、リフト台数が充実しているので待ち時間は

以上、このほかにも道内には大小様々なスキー場があります。皆さんも身近にあるスキー場に足を運んで、海外の人が羨む北海道の雪を楽しんでみてはいかがでしょうか。

田 守 隆 浩 (たもり たかひろ)

技術士(農業部門)

日本技術士会北海道本部 広報委員会
(株)ドーコン 環境事業本部 農業部

